

【問い合わせ先】

第二管区海上保安本部 TEL 022-363-0111（共通）
交通部安全課長 東 武（内線 2620）

冬期日本海における海難事故の防止について

平成26年度冬期に、東北の日本海沿岸及び陸奥湾内において、発達した低気圧に伴う海上荒天により、外国船舶の乗揚げ海難が相次いで発生しました。

第二管区海上保安本部では、この種の冬期日本海における海難事故を未然に防止するため、「冬期海難防止対策」を実施します。



秋田市沿岸に乗揚げた貨物船
（約17,000総トン）



山形県酒田市沿岸に乗揚げた貨物船
（約4,300総トン）



陸奥湾内で養殖施設に乗揚げた貨物船
（約3,000総トン）

昨年度、冬期日本海及び陸奥湾内において、外国船3隻による乗揚げ海難が相次いで発生しました。第二管区海上保安本部において、これら海難の原因等について調査・検討した結果、これら海難は船体の異常や貨物の荷崩れ等が原因ではなく、冬期日本海の大時化と、不適切なバラストコンディション（空船）が原因で操船不能に陥ったものであり、事故船舶の乗組員（外国人）は冬期日本海の危険性や空船状態の危険性を十分に認識していなかったことが判明しました。

この種の乗揚げ海難が発生した場合、人命の損失はもとより、大量の油流出や船体の残留により、沿岸地域社会に甚大な影響を及ぼす可能性があることから、同種海難事故を防止するため、別紙のとおり検討結果を踏まえた再発防止対策を実施します。

再発防止対策（新たな指導事項）

日本海で荒天が予想される場合

- ・最新の気象・海象情報を入手して避難場所を確認しましょう！
- ・日本海の航行、錨泊を中止し、安全な海域へ避難しましょう！

1 対象期間

平成27年11月1日(日)～平成28年3月31日(木)までの間

2 重点対策

(1)対象船舶

日本海沿岸及び陸奥湾内を航行する貨物船等

(2)実施内容

イ リーフレットを活用した訪船指導や海事関係者に対する啓発活動

ロ AISメッセージ及び国際VHFを活用した日本海に向け航行している船舶に対する注意喚起

ハ AISを活用した日本海沿岸及び陸奥湾に錨泊している船舶の走錨監視

(3)具体的な指導内容

イ 日本海の荒天を事前に把握するため、常に最新の気象情報の入手に努めること。

ロ 日本海で荒天が予想される場合は、日本海の航行、錨泊を取り止め早期に安全な海域へ避難すること。

ハ 陸奥湾では、陸岸3海里以内の海域に多数の漁具が設置されているので接近しないこと。

3 管内全域を対象とした対策

海上保安官による船舶、船舶代理店、漁協等関係先への訪問指導を実施するほか、漁業者・港湾工事関係者等を対象とした海難防止講習会を実施する。

(指導内容)

イ 最新の気象・海象情報の入手と安全な海域への早期避難の検討

ロ 荒天に備えた適切な対応(貨物の固縛・水密部の閉鎖)

ハ 錨泊中、航行中における常時適切な見張りの実施

AIS(船舶自動識別装置)とは、船名、現在位置などの情報を自動的に船舶間やAIS陸上局と送受信する航海用機器であり、AIS搭載船舶はAIS陸上局からのメッセージ情報を自動的に受信することができます。

参考資料

資料1 AISメッセージ及び国際VHFによる情報提供(注意喚起)

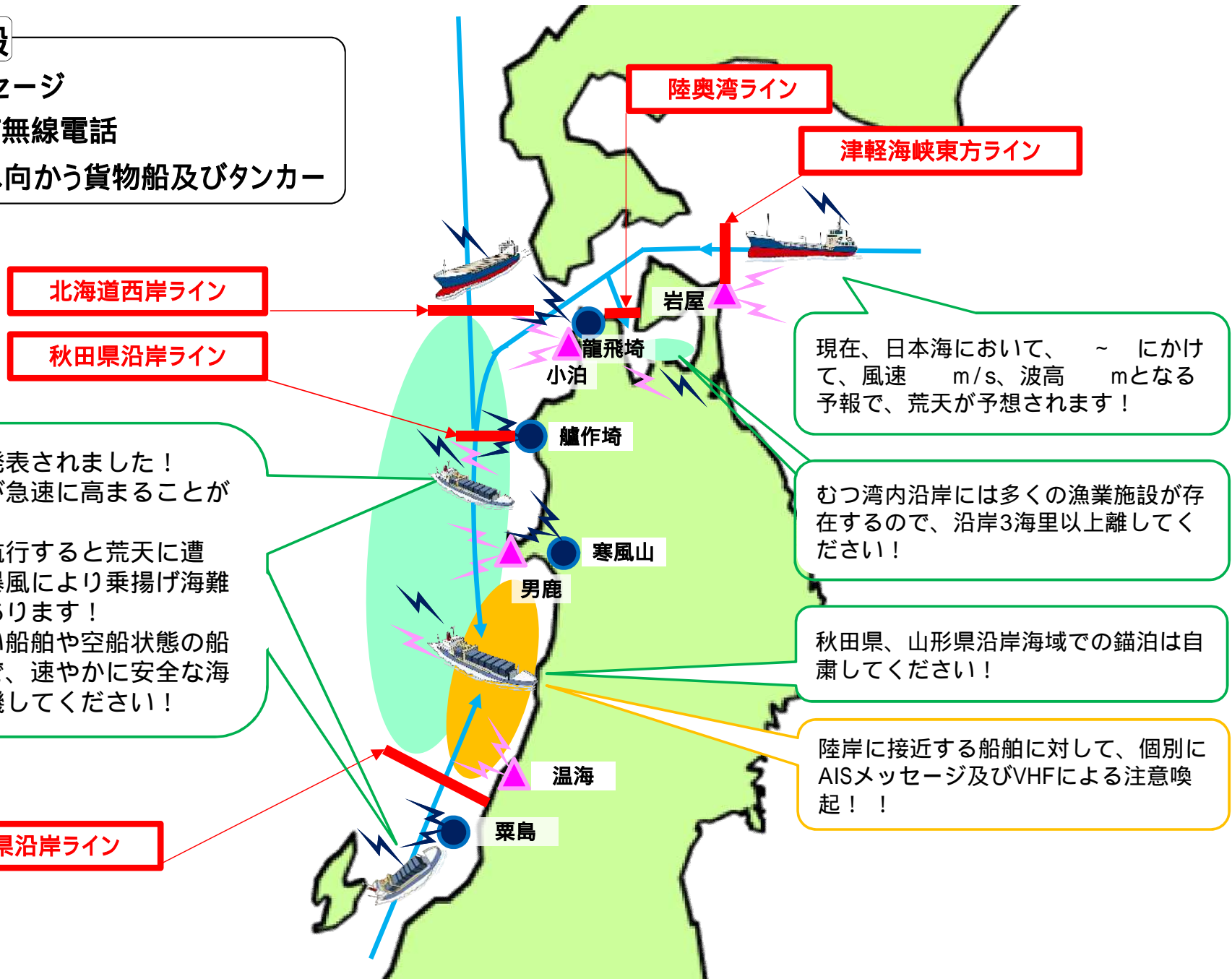
資料2 日本海冬期海難防止リーフレット

資料3 冬期海難防止リーフレット

AISメッセージ及び国際VHFによる情報提供(注意喚起)

注意喚起の手段

- ⚡ : AISメッセージ
- ⚡ : 国際VHF無線電話
- : 日本海へ向かう貨物船及びタンカー



北海道西岸ライン

秋田県沿岸ライン

陸奥湾ライン

津軽海峡東方ライン

岩屋

龍飛崎
小泊

鱸作崎

寒風山

男鹿

温海

粟島

現在、日本海において、～にかけて、風速 m/s、波高 mとなる予報で、荒天が予想されます！

- ・海上暴風警報が発表されました！
- ・沿岸では、波浪が急速に高まる可能性があります！
- ・このまま沿岸を航行すると荒天に遭遇し、西寄りの暴風により乗揚げ海難に至る可能性があります！
- ・特に、速力の遅い船舶や空船状態の船舶は危険ですので、速やかに安全な海域に避難し、待機してください！

むつ湾内沿岸には多くの漁業施設が存在するので、沿岸3海里以上離してください！

秋田県、山形県沿岸海域での錨泊は自粛してください！

陸岸に接近する船舶に対して、個別にAISメッセージ及びVHFによる注意喚起！！

山形県沿岸ライン

冬期の日本海、荒天が予想される ときの航行・錨泊は危険！早期避難を！

平成26年度、冬季日本海の荒天下、航行中に操船困難
となり3隻の乗揚げ事故が発生！
過去10年で11隻もの大型貨物船が海難に遭遇！

平成26年度に発生した3隻の乗揚げ海難！！



平成27年3月10日発生(秋田県)



平成26年12月18日発生(山形県)



平成27年3月9日発生(青森県)

上記海難事故には3つの共通点が！！

冬期日本海は怖い！！！！

- ・西寄りの季節風により
「暴風警報相当の気象条件が頻発」
- ・海上に遮蔽物が無いため
「安全な避泊地無し」
- ・猛烈な風浪で
「圧流された場合、乗揚げ回避が困難」



12月から3月にかけて、
最大瞬間風速25m/s
最大波高10m
の暴風警報相当の気象が何度も発生！

こんな船舶が危険！！！！

特に、空船状態や速力の遅い船！！！！
風浪の影響を受けやすく、レーシングや
圧流により、操船不能となる危険が！

乗組員の認識不足！！！！

乗組員は気象条件や日本海の特徴を認識しない状態で日本海を航行し、乗揚げ海難を起こしています！

荒天が予想される場合には、

最新の気象海象情報を入手して安全な海域に行こう！
日本海に入らず、安全な海域で待機しよう！
沿岸での錨泊を避け、早く安全な海域に離脱しよう！



第二管区海上保安本部

冬期の海難防止のために

東北地方では、荒天が続く冬期に、気象・海象不注意による海難の発生件数が多くなっています。**最新の気象情報を早期に入手し、早めに避泊**するなど、荒天に備えた適切な対応を心がけましょう！

また、降雪等により視界が制限される場合も多いので、**常時適切な見張り**を徹底しましょう！

最新の気象・海象情報を早期に入手していますか？

荒天への対応は、早めに行うことが肝心です。
そのために、最新の気象・海象情報を早期に入手しましょう。



早期避難、荒天対策を実施していますか？



荒天が予想される場合は、早めの避泊や入港を心がけましょう。
やむを得ず荒天下を航行する場合は、貨物のラッシング状況や、開口部の閉鎖状況などの点検を行い、荷崩れや浸水の防止措置を確実にいきましょう。

錨泊当直を適切に実施していますか？

走錨に伴う乗揚げや他船との衝突を防止するため、錨泊中は、目視のほかレーダーやAIS等を適切に使用して、自船や周囲の船舶の位置を確認するとともに、国際VHF(無線電話)を常時聴取するなど、錨泊当直を適切に行い、自船及び周囲の船舶の走錨の早期感知に努めましょう。



見張りを適切に実施していますか？

他船との衝突を防止するため、航海中は、目視のほかレーダーやAIS等を適切に使用するとともに、降雪等により視界が悪い場合は見張りを増員するなどして、常時周囲の見張りを適切に行いましょう。

MICS ミュニケーション・インフォメーション・システム
Maritime Information and Communication System

最新の気象・海象情報、海上工事情報など、海の安全に関する情報をインターネット等で提供しています。

海の事件・事故は118番



第二管区海上保安本部

FOR SAFE NAVIGATION IN STORMY WEATHER

“Check point for preventing marine accidents”

CHECK THE NEWEST WEATHER INFORMATION

You should be dedicated efforts to collect the newest weather information base on proper weather prediction while your navigation.

In many case navigating vessels are likely to encounter heavy weather around Japan.

Particular attention should be paid to the information on typhoons, developing low pressures and winter seasonal westerly wind.

In emergency case in stormy weather, conduct early evacuation.



PREVENTION OF SHIP FLOODING

Deck openings and hatches shall be closed securely.

Above all, tight closure of hatch openings is the most vital requirement.

PREVENTION OF COLLAPSING DECK CARGO



In the Japanese coastal waters, vessels often come across stormy weather, and rolling and/or pitching by herself cut off lashing wire so that containers (timbers) flow out to sea.

Lashing should be kept taut at all times during your navigation, and every morning inspections should be carried out for this purpose.

PREVENTION OF DRAGGING ANCHOR

While at anchor, you should prevent the dragging anchor by using radar and AIS, etc. You must always keep the anchor watch and watch on VHF ch16.

At the time of stormy weather, you should extend the cable, standby engine, and take to enough readiness by crew.



PROPER LOOKOUT AT ALL TIMES

The main cause of the collision is inadequate lookout.

You must make a proper lookout at all times by COLREGS.



2nd Regional Coast Guard Headquarters

冬期の海難防止のために

東北地方では、荒天が続く冬期に、気象・海象不注意による海難の発生件数が多くなっています。**最新の気象情報を早期に入手し、無理な操業は避ける**等、荒天に備えた適切な対応を心がけましょう！

また、降雪等により視界が制限される場合も多いので、**常時適切な見張り**を徹底しましょう！

最新の気象・海象情報を早期に入手していますか？

荒天への対応は、早めに行うことが肝心です。
そのために、最新の気象・海象情報を早期に入手しましょう。



早期避難、荒天対策を実施していますか？



荒天が予想される場合は、早めの避泊や帰港を心がけましょう。

やむを得ず荒天下を航行する場合は、漁具のラッシング状況や、開口部の閉鎖状況などの点検を行い、荷崩れや浸水の防止措置を確実に行いましょう。

見張りを適切に実施していますか？

他船との衝突を防止するため、航海中は、目視のほかレーダー等を適切に使用するとともに、降雪等により視界が悪い場合は見張りを増員するなどして、常時周囲の見張りを適切に行いましょう。



ライフジャケットを着用していますか？

操業中のライフジャケット着用はもちろんのこと、特に1人乗りの漁船では、万が一海難に遭遇した場合に備え、次の自己救命策を励行しましょう。

- ・ ライフジャケットの着用
- ・ 携帯電話等の連絡手段の確保
- ・ 海のもしもは118番

MICS ミクス
Maritime Information and Communication System
—沿岸域情報提供システム—

最新の気象・海象情報、海上工事情報など、海の安全に関する情報をインターネット等で提供しています。

海の事件・事故は118番



第二管区海上保安本部

冬期の海難防止のために

東北地方では、荒天が続く冬期に、気象・海象不注意による海難の発生件数が多くなっています。**最新の気象情報を早期に入手し、早めに避泊**するなど、荒天に備えた適切な対応を心がけましょう！

また、降雪等により視界が制限される場合も多いので、**常時適切な見張り**を徹底しましょう！

最新の気象・海象情報を早期に入手していますか？

荒天への対応は、早めに行うことが肝心です。
そのために、最新の気象・海象情報を早期に入手しましょう。



早期避難、荒天対策を実施していますか？



荒天が予想される場合は、早めの避泊や入港を心がけましょう。長距離曳航作業にあたっては、事前に避泊地を選定しておきましょう。

やむを得ず荒天下を航行する場合は、積載物のラッシング状況や、開口部の閉鎖状況、曳航索の状況などの点検を確実に行いましょう。

避泊地の選定は適切ですか？

作業台船や運動性能が劣る作業船は、荒天時の走錨に対する対応が困難になります。特に震災により防波堤が損壊する等、風浪の影響を受けやすい港湾工事の現場では、荒天が予想される場合、あらかじめ安全な港湾等に避難しましょう。



見張りを適切に実施していますか？

他船との衝突を防止するため、航海中は、目視のほかレーダーやAIS等を適切に使用するとともに、降雪等により視界が悪い場合は見張りを増員するなどして、常時周囲の見張りを適切に行いましょう。



MICS ミックス —沿岸域情報提供システム—

Maritime Information and Communication System

最新の気象・海象情報、海上工事情報など、海の安全に関する情報をインターネット等で提供しています。

海の事件・事故は118番



第二管区海上保安本部